

まつしん 景況レポート

■製造業 ■小売業 ■サービス業 ■建設業

CONTENTS

業種別の業況	1~6
経済指標	7~8
特別調査 中小企業の環境問題への取組みについて	9~10

概 況(総合)

国内経済を見ると、実質GDP成長率がマイナスに転じ、日銀短観9月によれば5年ぶり景況感マイナスを示すこととなりました。サブプライムローン問題等に端を発した急激な米国経済減速が表面化し、更にここにきて金融危機不安を背景に、世界同時株安など深刻な追い討ちが相次ぐこととなりました。国内企業にとっても、原材料高による収益圧迫も依然続いているなか、この影響から輸出の鈍化も顕著になっており、悪循環である経常利益の下方見直しや生産ラインの下方修正などが大企業から発表される事態が目立ちはじめ現況は下降と言えます。収益の落込みは、当然ながら設備投資の減少に波及、下請け企業への生産調整など徐々に悪影響を及ぼしてきております。また、頼りの個人消費に於いても、食の安全など種々の問題を抱えるなかで個人収入が伸びず、燃料・生活日用品・食料品などの相次ぐ値上げ攻勢に、心理的に生活防衛意識も高まり買い控えに転じるなど、個人消費の落ち込む要因が重なっており、先行き不透明さを懸念する声も増してきております。

一方、県内の経済を見ると業種として企業も多く、景況を大きく左右する公共投資は、依然低調に推移しております。これまで牽引してきた製造業は、海外輸出減少から親企業指導に基づく生産調整に踏み切る動きも見受けられてきております。県内企業はコスト上昇分をこれまであまり販売価格に転嫁しておらず、収益減少を余儀なくされ、設備投資や資金繰り・雇用動向等にも影響が増してきております。個人消費でも、国内経済同様、食料品の相次ぐ値上げ・燃料価格高騰の影響などにより、全体を通した売上が減少してきております。サービス業に於ける観光施設等の売上は、消費性向減退やマイカー客減少などにより大幅に後退しております。

このような情勢下で、当金庫の取引先に対して景気動向調査を実施し、その結果によりますと、平成20年7月～9月の業況判断DI値は49.2と予想より6.6ポイント悪化しており、厳しい結果となりました。過去の「景況レポート」調査からすると、2002.10～2003.3月期に同じ様な悪化を示しましたが、それ以来の厳しさとなっております。

来期の業況判断DI値は、46.8を示しており、このまま厳しさが続くものと予想されますが、観光シーズンが訪れるなど季節的要因により、サービス業・小売業を中心に押し上げ期待感が僅かではあるが予想されます。

区 分	2008年 4月～6月	2008年 7月～9月	2008年 10月～12月予想	概 要
総 合				今期は、悪化となり厳しい結果となりました。 来期は、このまま厳しさが続くものと予想されます。
製 造 業				今期は、前期より僅かに戻しました。 来期は、更に厳しく苦しい状況が続くと予想されます。
小 売 業				今期は、悪化となりました。 来期は、このまま厳しさが続くものと予想されます。
サービス業				今期は、悪化となりました。 来期は、このまま厳しさが続くものと予想されます。
建 設 業				今期は、前期より僅かに戻しました。 来期は、今期よりは僅かに戻すものと予想されます。

(このお天気マークは、景気指標を総合判断したものです。)

指数	31以上	21～30	10～20	9～9	-10～-20	-21～-30	-31以下	
好調←								→低調

調査要領

1. 調査時期 2008年9月初旬
2. 調査対象期間 2008年7～9月期(実績)
2008年10～12月期(予想)
3. 調査方法 当金庫職員による聴き取りおよび留め置き調査
4. 調査対象 当金庫取引先事業所
5. 調査対象企業数・有効回答数等の内容

区 分	調査対象企業数	有効回答数	有効回答率(%)
製 造 業	68	68	100.0%
小 売 業	75	75	100.0%
サ ー ビ ス 業	56	55	98.2%
建 設 業	50	50	100.0%
合 計 (総 合)	249	248	99.6%

6. 分析の方法

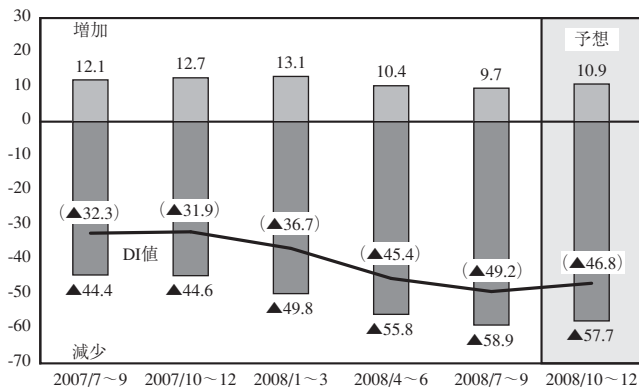
この調査は、各質問項目に企業の総回答数に対する「良い(増加等)」および「やや良い(やや増加等)」と回答した企業の割合と、「やや悪い(やや減少等)」および「悪い(減少等)」と回答した企業の割合との差DIを中心に分析を行っています。

$$DI(\text{業況判断}) = \text{「良い・やや良い」} - \text{「悪い・やや悪い」企業数構成比、\%}$$

傾向値は4期間2段階の移動平均法で算出した数値です。

$$= (4\text{期前} \sim \text{前期までの合計} + 3\text{期前} \sim \text{今期までの合計}) \div 8$$

●業況判断



●業況判断DI(「良い」-「悪い」社数構成比、%)

カッコ内は前回調査時予想

	2007/7~9月	2007/10~12月	2008/1~3月	2008/4~6月	2008/7~9月	2008/10~12月予想
業況判断	▲32.3	▲31.9	▲36.7	▲45.4	(▲42.6)	▲46.8

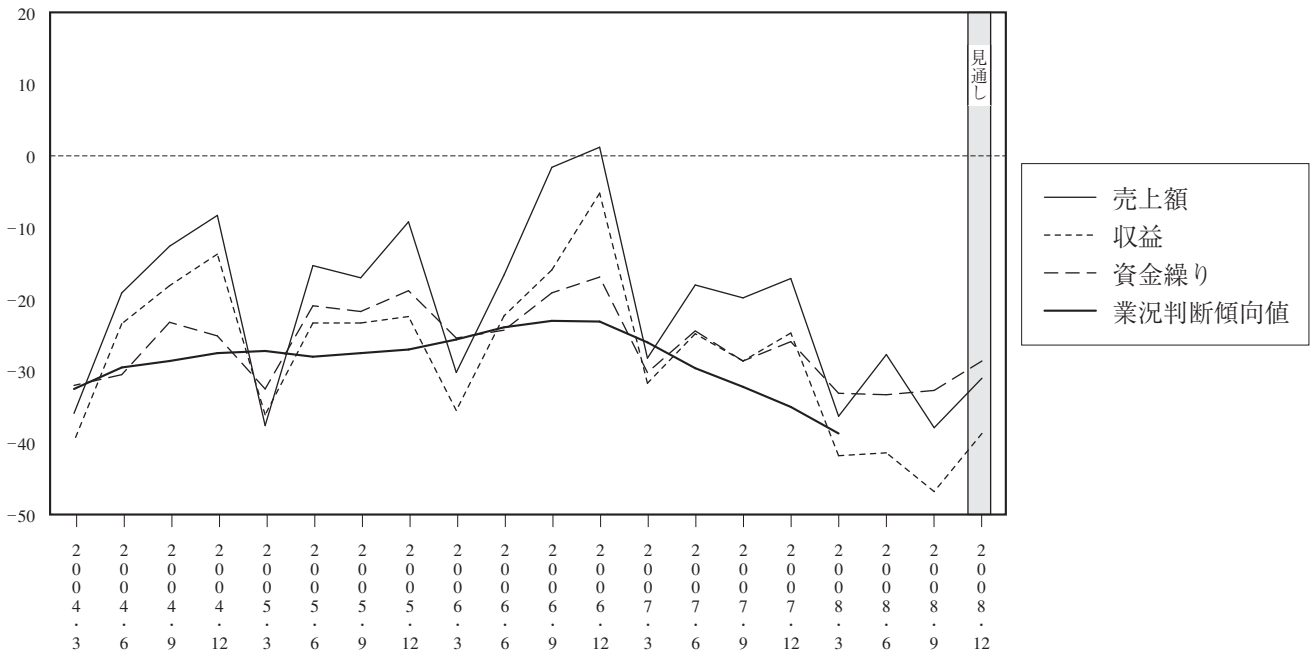
●主要指標DI(「増加・上昇」-「減少・下降」社数構成比、%)

〔前期と比べて〕

カッコ内は前回調査時予想

	2007/7~9月	2007/10~12月	2008/1~3月	2008/4~6月	2008/7~9月	2008/10~12月予想
売上額	▲19.8	▲17.1	▲36.3	▲27.7	(▲24.9)	▲31.0
収益	▲28.6	▲24.7	▲41.8	▲41.4	(▲37.8)	▲38.7
資金繰り	▲28.6	▲25.9	▲33.1	▲33.3	(▲30.1)	▲28.6
業況判断傾向値	▲32.2	▲35.0	▲38.7			

●指標の推移状況(DI値)



●経営上の問題点

(単位:%、複数回答)

順位	2008年 4月~6月	2008年 7月~9月
1	売上の停滞・減少 60.2	売上の停滞・減少 57.3
2	利幅の縮小 39.8	利幅の縮小 42.3
3	同業者間の競争の激化 35.3	同業者間の競争の激化 28.2
4	材料価格の上昇 21.7	材料価格の上昇 20.2
5	大企業との競争 15.7	大企業との競争 18.1

・企業数割合(上位5項目)

●当面の重点経営施策

(単位:%、複数回答)

順位	2008年 4月~6月	2008年 7月~9月
1	経費を節減する 71.9	経費を節減する 72.2
2	販路を広げる 36.5	販路を広げる 33.9
3	技術力を強化 13.7	情報力強化 18.1
4	情報力強化 13.3	宣伝・広告強化 13.3
5	品揃え改善 13.3	品揃え改善 11.3

・企業数割合(上位5項目)

製 造 業

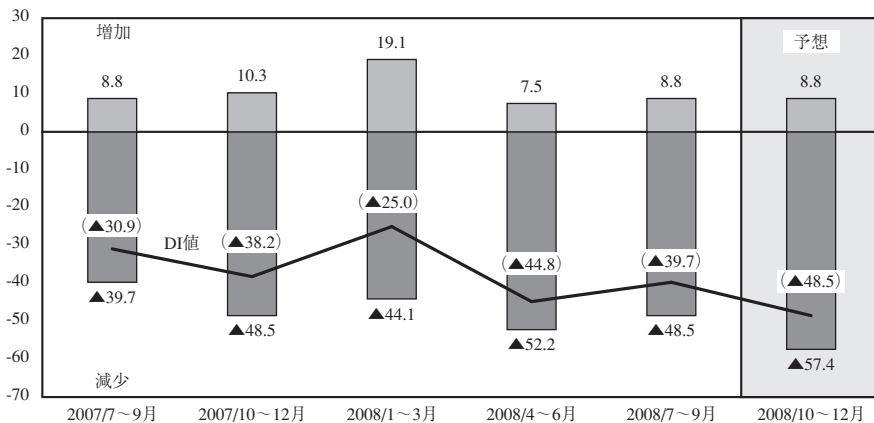
今期の業況判断DI値は、39.7と前期より5.1ポイント僅かに前期より戻しました。原材料価格の上昇が止まらない状況にあります。収益・資金繰りに於いても僅かながら戻しましたが、売上額は前期より悪化となりました。設備投資に於いては、僅かながら改善が見られました。

業種別に見れば、

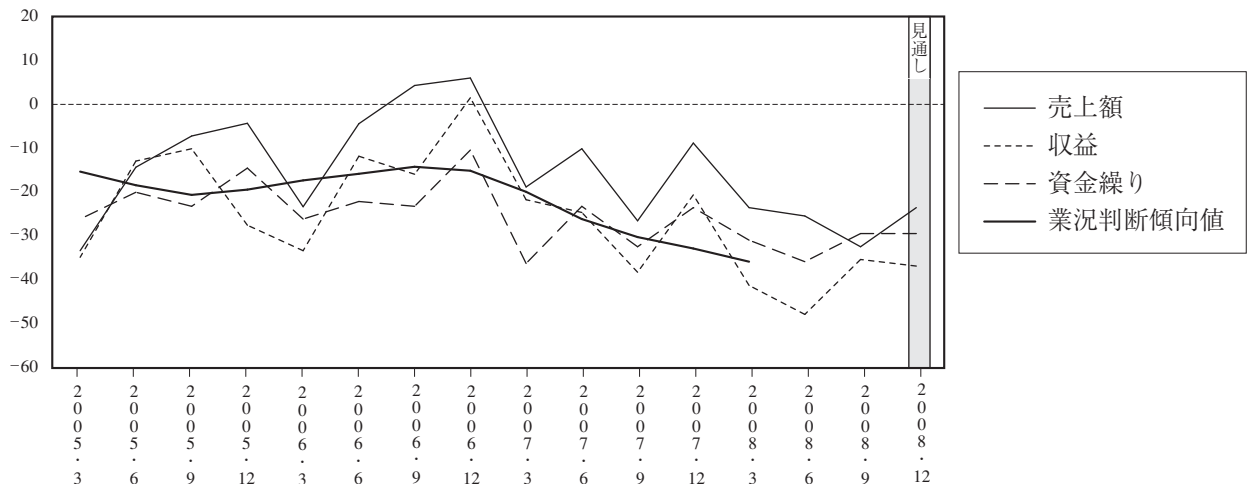
1. 食料品製造業は、原材料価格の上昇で売上額・収益は減少となり、資金繰りも苦しい状況が続いています。来期は、今期とあまり変わらないものと予想されます。
2. 繊維・衣服製造業は、販売価格は前期とあまり変化はありませんでしたが、天候不順などの影響で売上額・収益・受注とも減少傾向となりました。来期は、更に厳しさが続くものと予想されます。
3. 木材加工業は、資金繰りに苦しさが見られましたが、概ね横ばいとなりました。来期は、今期とあまり変わらないと予想されます。
4. 非金属製造業は、全体的に概ね横ばいとなりました。設備投資においては、僅かながら実施した企業が見受けられました。来期は、厳しさが続くものと予想されます。
5. 金属製品製造業は、原材料価格の上昇に伴い、売上額・収益が減少となりました。雇用面では、残業がやや減少してきております。来期は、更に厳しさが続くものと予想されます。
6. その他製造業は、全体的に見て概ね横ばいとなりました。一部に於いては、原材料の価格上昇などの要因で売上額がやや増加したものの、収益は伸びない状況が見受けられました。設備投資に於いては、僅かながら実施した企業が見受けられました。来期は、売上額に於いて僅かな戻しも予想されますが、厳しさは続くものと予想されます。

来期の業況判断DI値は、48.5と今期より更に厳しい状況が続くものと予想されます。

業況診断



指標の推移状況 (DI値)



●業況判断DI(「良い」-「悪い」社数構成比、%)

	2007/7~9月	2007/10~12月	2008/1~3月	2008/4~6月	2008/7~9月	2008/10~12月予想
業況判断	▲30.9	▲38.2	▲25.0	▲44.8	▲39.7	▲48.5

カッコ内は前回調査時予想

●主要指標DI(「増加・上昇」-「減少・下降」社数構成比、%)

	2007/7~9月	2007/10~12月	2008/1~3月	2008/4~6月	2008/7~9月	2008/10~12月予想
売上額	▲26.5	▲8.8	▲23.5	▲25.4	▲32.4	▲23.5
収 益	▲38.2	▲20.6	▲41.2	▲47.8	▲35.3	▲36.8
資金繰り	▲32.4	▲23.5	▲30.9	▲35.8	▲29.4	▲29.4

〔前期と比べて〕 カッコ内は前回調査時予想

●設備投資DI(「過剰」-「不足」社数構成比、%)

	2007/7~9月	2007/10~12月	2008/1~3月	2008/4~6月	2008/7~9月	2008/10~12月予想
設備の水準	▲8.8	▲19.1	▲10.3	▲9.0	▲4.4	▲4.4
設備投資した企業割合				22.1%		
設備投資予定のある企業割合				19.1%		

カッコ内は前回調査時予想

小 売 業

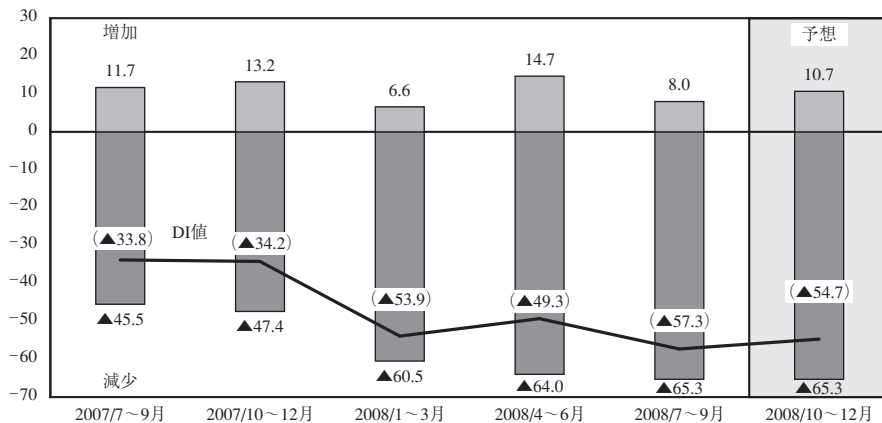
今期の業況判断DI値は、57.3と悪化となりました。8月後半は、大雨などの天候不順が影響し、衣料品などの販売が期待したほど伸びませんでした。また燃料の価格・食料品の値上げなどにより、消費者の財布の紐も堅く売上・収益とも前期予想を大幅に下回りました。

業種別に見れば、

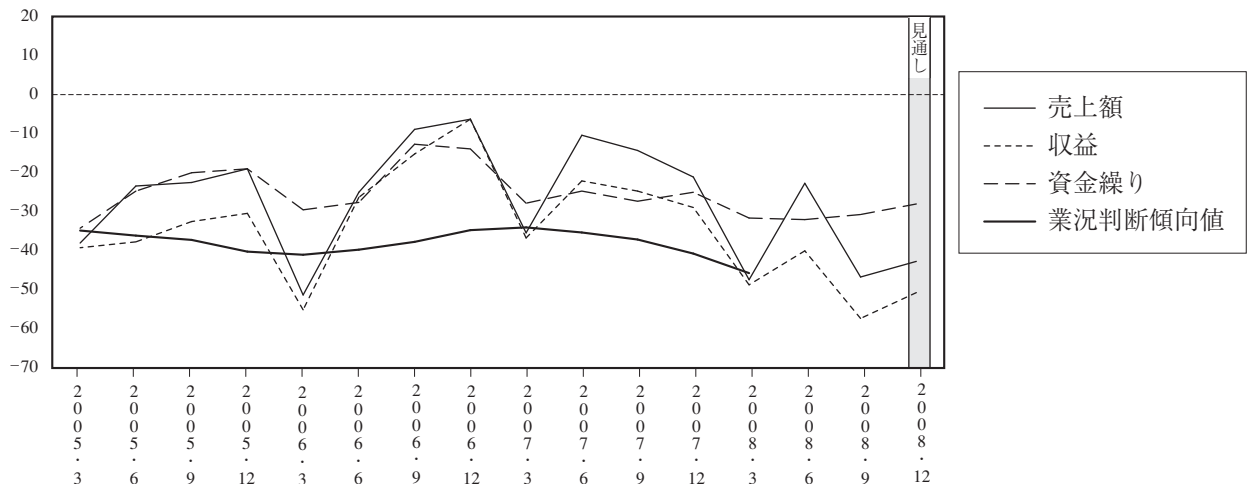
1. 織物・衣服小売業は、夏物の販売不振で売上額・収益とも減少となりました。来期は、今期とあまり変わらないものと予想されます。
2. 飲食料品小売業は、仕入れ価格上昇や食の安全性問題により売上額は増加せず収益がやや減少となり、資金繰りに於いても苦しさが見られました。来期は、厳しさが続くものと予想されます。
3. 飲食業は、仕入れ価格が上昇しても販売価格に転嫁出来ず、売上額・収益とも減少となりました。来期は、厳しさが続くものと予想されます。
4. 家電小売業は、昨年及び前期と比べ、売上額・収益がやや増加となりました。要因としては、北京オリンピック開催による薄型テレビの販売が好調だったことなどがあげられます。来期は、僅かな売上が予想されます。
5. 家具・建具小売業は、売上額・収益は減少傾向になり、資金繰りにも苦しさが見受けられました。来期は、今期より更に厳しさが続くものと予想されます。
6. その他小売業は、全体的に売上額・収益は減少となりましたが、一部の企業に於いては、前期と比べやや増加が見られました。来期は、今期とあまり変わらないものと予想されます。

来期の業況判断DI値は、54.7と今期とあまり変わらず、この厳しさは続くものと予想されます。

業況診断



指標の推移状況(DI値)



●業況判断DI(「良い」-「悪い」社数構成比、%)

カッコ内は前回調査時予想

	2007/7~9月	2007/10~12月	2008/1~3月	2008/4~6月	2008/7~9月	2008/10~12月予想
業況判断	▲33.8	▲34.2	▲53.9	▲49.3	▲57.3	▲54.7

●主要指標DI(「増加・上昇」-「減少・下降」社数構成比、%)

[前期と比べて]

カッコ内は前回調査時予想

	2007/7~9月	2007/10~12月	2008/1~3月	2008/4~6月	2008/7~9月	2008/10~12月予想
売上額	▲14.3	▲21.1	▲47.4	▲22.7	▲46.7	▲42.7
収益	▲24.7	▲28.9	▲48.7	▲40.0	▲57.3	▲50.7
資金繰り	▲27.3	▲25.0	▲31.6	▲32.0	▲30.7	▲28.0

●設備投資DI(「過剰」-「不足」社数構成比、%)

カッコ内は前回調査時予想

	2007/7~9月	2007/10~12月	2008/1~3月	2008/4~6月	2008/7~9月	2008/10~12月予想
設備の水準	▲10.4	▲17.1	▲14.5	▲13.3	▲18.7	▲20.0
設備投資した企業割合	21.3%			20.0%		

建設業

今期の業況判断DI値は、40.0と前期より5.1ポイント戻しましたが、予想したDI値より下回りました。依然公共事業の減少や資材価格の上昇・請負価格の下降と厳しい状況が続いております。しかし季節的要因も働き、着工件数が僅かながら伸びたことより、売上額・収益に前期より若干の上昇が見受けられました。一方、資金繰りに於いてはまだ厳しい状況が続いております。

業種別に見れば、

1. 総合工事業は、依然資材価格上昇や受注減少の影響より売上額・収益とも減少となりました。来期も厳しい状況が続くものと予想されます。
2. 職別工事業は、一部で固定客を有し僅かながら戻しも見受けられたものの、依然資材価格上昇・請負価格の下降が収まらず厳しい状況が続いており、大部分の企業は売上額・収益とも減少となりました。来期は今期より一部ではあるが、僅かに戻ることが予想されます。
3. 設備工事業は、資材価格上昇・請負価格の下降の影響より、売上額・収益とも減少しました。来期は、一部ではあるが、今期より僅かながら戻ることが予想されます。

来期の業況判断DI値は、34.0と今期よりは、僅かに戻るものと予想されます。

●業況判断DI(「良い」-「悪い」社数構成比、%)

カッコ内は前回調査時予想

	2007/7~9月	2007/10~12月	2008/1~3月	2008/4~6月	2008/7~9月	2008/10~12月予想
業況判断	▲34.6	▲23.5	▲43.1	▲45.1	▲40.0	▲34.0

●主要指標DI(「増加・上昇」-「減少・下降」社数構成比、%)

[前期と比べて]

カッコ内は前回調査時予想

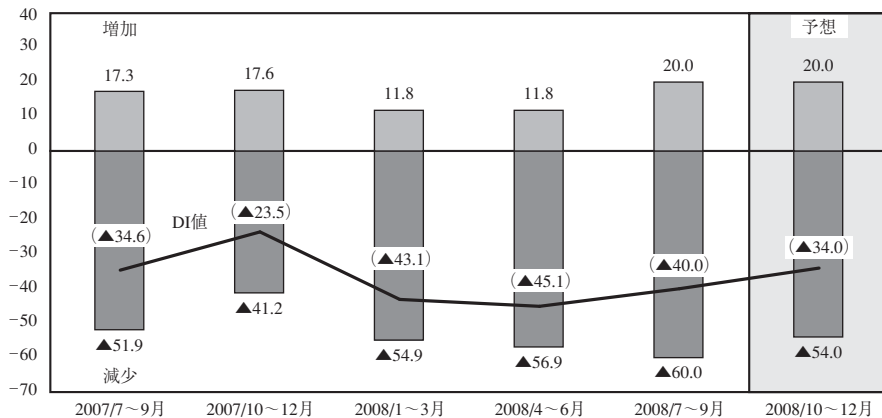
	2007/7~9月	2007/10~12月	2008/1~3月	2008/4~6月	2008/7~9月	2008/10~12月予想
売上額	▲19.2	▲11.8	▲35.3	▲39.2	▲38.0	▲30.0
収益	▲23.1	▲21.6	▲41.2	▲49.0	▲46.0	▲30.0
資金繰り	▲25.0	▲27.5	▲39.2	▲39.2	▲40.0	▲24.0

●設備投資DI(「過剰」-「不足」社数構成比、%)

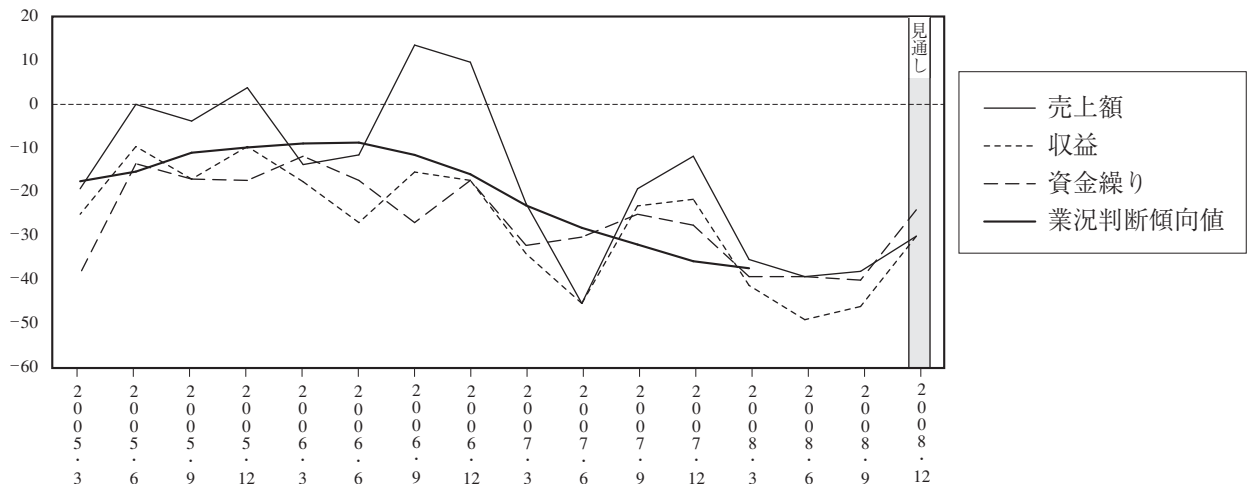
カッコ内は前回調査時予想

	2007/7~9月	2007/10~12月	2008/1~3月	2008/4~6月	2008/7~9月	2008/10~12月予想
設備の水準	▲3.8	2.0	0.0	▲3.9	▲4.0	▲10.0
設備投資した企業割合				24.0%		
設備投資予定のある企業割合				30.0%		

業況診断



指標の推移状況 (DI値)

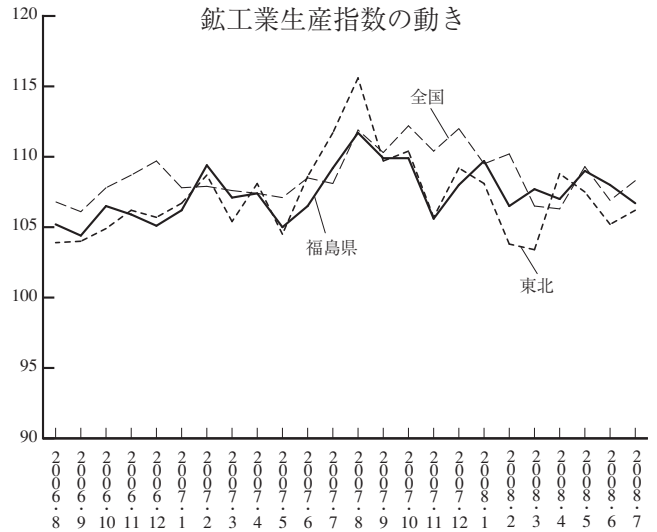


経 済 指 標

鉱工業生産指数(季節調整済)

平成17年=100

	福 島 県	東 北	全 国
2007年 2月	109.4	108.7	107.9
3	107.1	105.4	107.6
4	107.4	108.1	107.4
5	105.0	104.5	107.1
6	106.5	108.6	108.5
7	109.2	111.7	108.1
8	111.7	115.6	111.9
9	109.9	109.7	110.3
10	109.9	110.4	112.2
11	105.6	105.7	110.4
12	108.0	109.2	112.0
2008年 1月	109.7	108.1	109.5
2	106.5	103.8	110.2
3	107.7	103.4	106.5
4	107.0	108.8	106.3
5	108.9	107.5	109.3
6	108.0	105.2	106.9
7	106.7	106.2	108.3

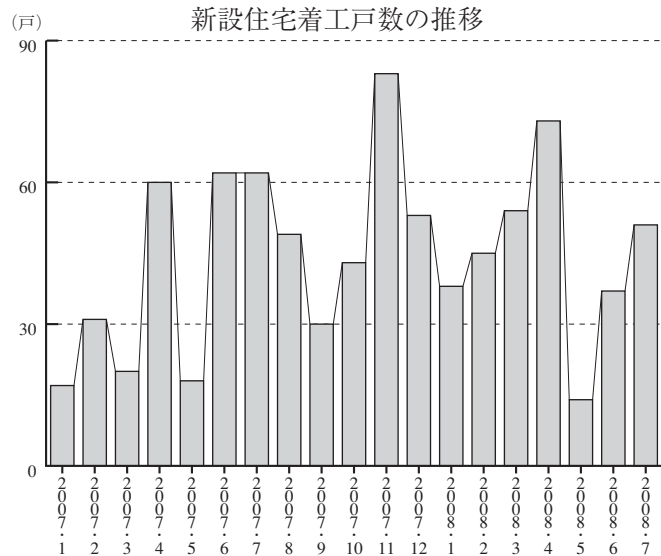


(資料：情報統計領域)

安達地方新設住宅着工戸数

(単位：戸)

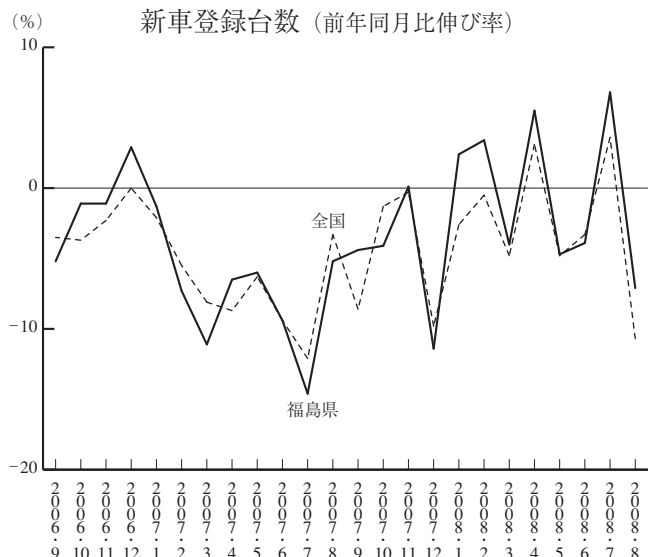
	二本松市	本 宮 市	安 達 郡 (大玉村)	合 計
2007年 1月	7	10	0	17
2	16	13	2	31
3	8	11	1	20
4	38	18	4	60
5	14	2	2	18
6	42	15	5	62
7	40	13	9	62
8	29	14	6	49
9	13	15	2	30
10	26	14	3	43
11	54	19	10	83
12	23	27	3	53
2008年 1月	8	29	1	38
2	11	31	3	45
3	16	33	5	54
4	24	41	8	73
5	9	4	1	14
6	17	13	7	37
7	30	18	3	51



(資料：県土木部建築領域)

新車登録台数(乗用車・トラック・バス・軽自動車含む)

	福 島 県		全 国	
	台 数	前年比%	台数(千台)	前年比%
2007年 1月	6,244	-1.3	386,665	-2.1
2	7,751	-7.3	505,116	-5.5
3	12,793	-11.1	767,367	-8.1
4	5,700	-6.5	357,690	-8.7
5	5,828	-6	378,800	-6.3
6	7,152	-9.4	462,166	-9.4
7	6,560	-14.6	438,940	-12.1
8	5,155	-5.2	347,307	-3.3
9	8,122	-4.4	499,798	-8.6
10	6,459	-4.1	406,215	-1.3
11	7,354	0.1	451,087	-0.3
12	5,503	-11.4	367,786	-9.8
2008年 1月	6,396	2.4	376,620	-2.6
2	8,012	3.4	502,617	-0.5
3	12,280	-4	730,582	-4.8
4	6,016	5.5	368,830	3.1
5	5,552	-4.7	360,524	-4.8
6	6,870	-3.9	446,991	-3.3
7	7,005	6.8	454,594	3.6
8	4,789	-7.1	310,091	-10.7



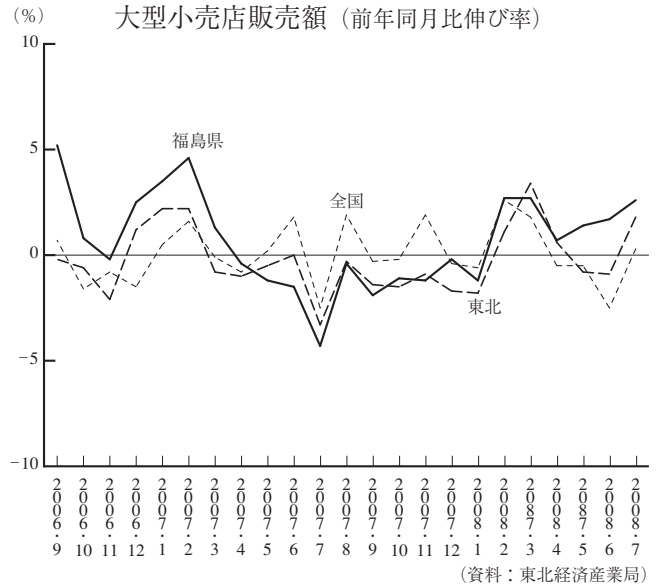
(資料：福島県自動車販売店協会)

福島県大型小売店販売額

(単位:百万円)

	福島県		全 国		東 北	
	百万円	前年同月比	十億円	前年同月比	百万円	前年同月比
2006年	230,580	-	21,138	-	1,210,838	-
2007年	229,951	-	21,191	-	1,203,336	-
2007年 6月	18,179	-1.5	1,735	1.8	96,575	0
7	19,039	-4.3	1,861	-2.5	99,525	-3.3
8	19,662	-0.4	1,672	1.9	104,855	-0.3
9	17,506	-1.9	1,590	-0.3	91,488	-1.4
10	18,470	-1.1	1,715	-0.2	95,913	-1.5
11	18,347	-1.2	1,812	1.9	96,811	-0.9
12	24,011	-0.2	2,267	-0.4	121,541	-1.7
2008年 1月	20,599	-1.2	1,881	-0.6	110,749	-1.8
2	17,362	2.7	1,554	2.6	91,145	1.1
3	19,922	2.7	1,770	1.8	102,063	3.4
4	18,832	0.7	1,681	-0.5	97,630	0.6
5	19,148	1.4	1,694	-0.5	97,247	-0.8
6	18,497	1.7	1,691	-2.5	95,693	-0.9
7	19,525	2.6	1,866	0.3	101,316	1.8

大型小売店販売額 (前年同月比伸び率)



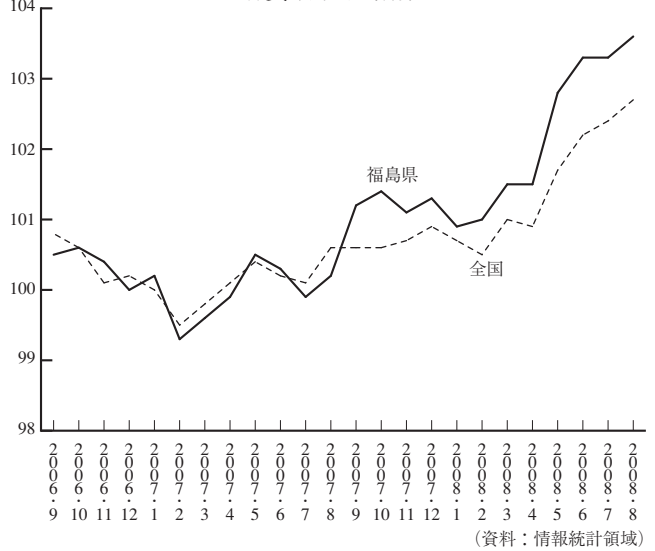
(資料:東北経済産業局)

消費者物価指数

平成17年=100

	福 島 県			全 国 指 数
	指 数	前年比	前月比	
2007年 2月	99.3	1.6	-0.9	99.5
3	99.6	1.9	0.3	99.8
4	99.9	1.6	0.3	100.1
5	100.5	1.8	0.6	100.4
6	100.3	1.5	-0.2	100.2
7	99.9	0.3	-0.4	100.1
8	100.2	0.0	0.3	100.6
9	101.2	0.7	1.0	100.6
10	101.4	0.8	0.2	100.9
11	101.1	0.7	-0.3	100.7
12	101.3	1.3	0.2	100.9
2008年 1月	100.9	0.7	-0.4	100.7
2	101.0	1.7	0.1	100.5
3	101.5	1.9	0.5	101.0
4	101.5	1.6	0.0	100.9
5	102.8	2.3	1.3	101.7
6	103.3	3.0	0.5	102.2
7	103.3	3.4	0.0	102.4
8	103.6	3.4	0.3	102.7

消費者物価指数



(資料:情報統計領域)

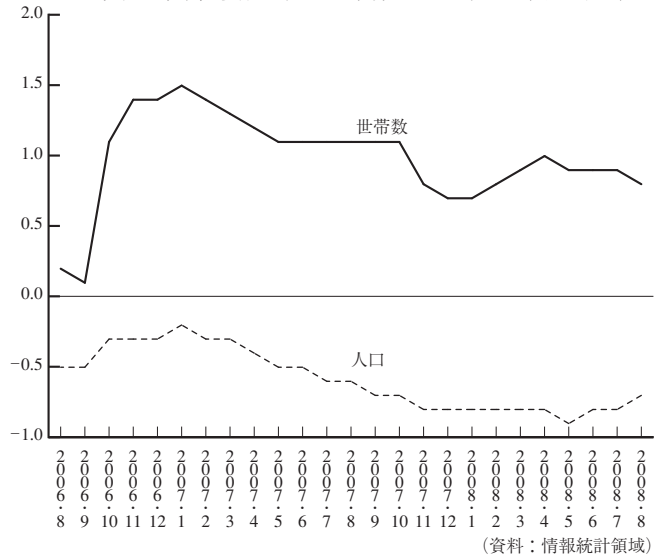
安達地方の世帯数・人口調べ

2008年 8月 1日現在

区 分	世帯数	対2005年10月 国勢調査				1 世 帯 当 たり 平均人口
		対前年同月		増 減 増減率		
		増 減	増減率	増 減	増減率	
二本松市	18,696	270	1.44	90	0.48	3.27
本 宮 市	9,504	454	4.78	78	0.82	3.33
安達郡大玉村	2,243	153	6.82	83	3.70	3.78
総 合 計	30,443	877	2.88	251	0.82	3.33

区 分	人 口	対2005年10月 国勢調査				男女別内訳	
		対前年同月		増 減 増減率		男	女
		増 減	増減率	増 減	増減率		
二本松市	61,177	▲2,002	▲3.27	▲728	▲1.19	29,631	31,546
本 宮 市	31,669	302	0.95	▲38	▲0.12	15,509	16,160
安達郡大玉村	8,475	11	0.13	48	0.57	4,177	4,298
総 合 計	101,321	▲1,689	▲1.67	▲718	▲0.71	49,317	52,004

二本松・本宮・安達郡の世帯数・人口推移 (対前年比)



(資料:情報統計領域)

まつしん景況レポート 特別調査 「中小企業の環境問題への取組みについて」

問1 環境問題への取組みが全世界的に叫ばれていますが、貴社では企業経営上、環境問題について特に意識していますか。1～4の中から当てはまるものを1つ選択して下さい。

		製造業	小売業	サービス業	建設業	全体
		68先	75先	55先	50先	248先
環境問題について	1. 強く意識している	17.6%	18.3%	9.1%	14.3%	15.2%
	2. やや意識している	57.4%	53.5%	69.1%	59.2%	59.3%
	3. 特に意識していない	25.0%	23.9%	16.4%	26.5%	23.0%
	4. 全く意識していない	0.0%	4.2%	5.5%	0.0%	2.5%

問2 貴社では、環境問題に取り組むうえで、企業経営上どのようなプラス面の効果を期待しますか。1～6の中から当てはまるものを2つ以内で選択して下さい。

		製造業	小売業	サービス業	建設業	全体
企業経営上どのようなプラス面の効果を期待しますか	1. 自社のイメージアップ	19.8%	18.4%	23.1%	22.5%	20.7%
	2. 取引先の評価向上による受注増加	13.2%	3.1%	9.0%	8.8%	8.6%
	3. 環境配慮型商品の販売による売上増加	1.9%	6.1%	3.8%	7.5%	4.7%
	4. 省エネ・リサイクルの浸透による経費節減	31.1%	34.7%	30.8%	21.3%	29.8%
	5. 産業廃棄物・ゴミ削減による経費節減	23.6%	18.4%	15.4%	26.3%	21.0%
	6. プラス面の効果は特に期待できない	10.4%	19.4%	17.9%	13.8%	15.2%

問3 貴社で実施している環境問題への取組みについて、1～10の中から当てはまるものを3つ以内で選択して下さい。

		製造業	小売業	サービス業	建設業	全体
実施している環境問題への取組み	1. エネルギー等の節約(節電・節水)	29.1%	39.7%	33.0%	26.1%	32.1%
	2. 簡易包装・無包装の励行	4.7%	8.1%	4.5%	0.9%	4.7%
	3. 両面コピー等による用紙利用削減の励行	24.3%	13.2%	19.6%	26.1%	20.7%
	4. クールビズやウォームビズ等による冷暖房温度の適正化の励行	8.1%	5.1%	8.9%	7.8%	7.4%
	5. アイドリングストップや急発進しない等のエコドライブの励行	8.1%	10.3%	14.3%	13.0%	11.2%
	6. 省エネ型機器や環境負荷の少ない原材料・製品の導入	8.1%	5.1%	6.3%	4.3%	6.1%
	7. 廃材・ゴミ等のリサイクル・再利用	12.2%	9.6%	8.9%	15.7%	11.5%
	8. 屋上緑化や壁面緑化などの緑化対策	1.4%	0.0%	0.0%	0.9%	0.6%
	9. その他	0.7%	0.0%	0.0%	1.7%	0.6%
	10. 特に取組んでいない	3.4%	8.8%	4.5%	3.5%	5.1%

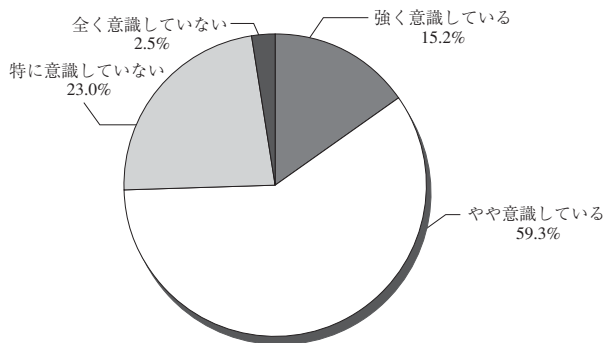
問4 貴社において、環境問題に取り組むうえでの課題や問題点は何んですか。1～10の中から当てはまるものを3つ以内で選択して下さい。

		製造業	小売業	サービス業	建設業	全体
環境問題に取り組むうえでの課題・問題点	1. 費用負担が大きい	27.9%	28.1%	30.5%	27.7%	28.5%
	2. 取り組むためのノウハウ・人材が不足	25.2%	19.1%	17.1%	16.9%	20.0%
	3. 環境問題に対する情報が不足	12.6%	18.0%	18.3%	16.9%	16.2%
	4. 業務効率・生産性の低下	8.1%	7.9%	11.0%	15.7%	10.4%
	5. 取引先の協力・理解が得られない	0.0%	3.4%	2.4%	2.4%	1.9%
	6. 社内の協力・理解が得にくい	8.1%	4.5%	6.1%	3.6%	5.8%
	7. 環境ISO取得等、取引先からの要望レベルが高い	4.5%	1.1%	1.2%	2.4%	2.5%
	8. 環境問題は当社の業務に関係ない	1.8%	1.1%	1.2%	1.2%	1.4%
	9. その他	0.0%	0.0%	1.2%	0.0%	0.3%
	10. 特になし	11.7%	16.9%	11.0%	13.3%	13.2%

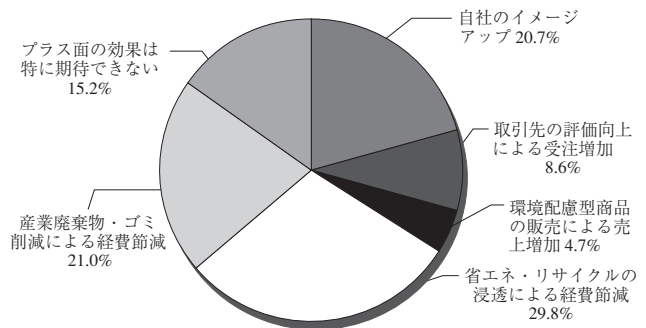
問5 環境問題に取り組むにあたり、行政に対して支援を希望することはありますか。1～10の中から当てはまるものを3つ以内で選択して下さい。

	製造業	小売業	サービス業	建設業	全体
1. 情報の提供(法律面や技術面)	22.0%	20.8%	22.1%	22.7%	21.9%
2. 公的な資金補助	23.6%	20.8%	20.0%	20.6%	21.4%
3. 専門家等の人材派遣や相談窓口の充実	7.1%	4.7%	5.3%	6.2%	5.9%
4. 税制面の優遇措置の拡充	18.1%	15.1%	18.9%	14.4%	16.7%
5. リサイクルシステム等のインフラの拡充	7.9%	10.4%	9.5%	9.3%	9.2%
6. 排出量取引への対応支援	3.1%	4.7%	6.3%	7.2%	5.2%
7. 環境関連の法律・条令等の一層の拡充	1.6%	0.0%	2.1%	3.1%	1.6%
8. 環境教育の充実	3.9%	8.5%	7.4%	7.2%	6.6%
9. その他	1.6%	0.9%	0.0%	0.0%	0.7%
10. 特に希望はない	11.0%	14.2%	8.4%	9.3%	10.8%

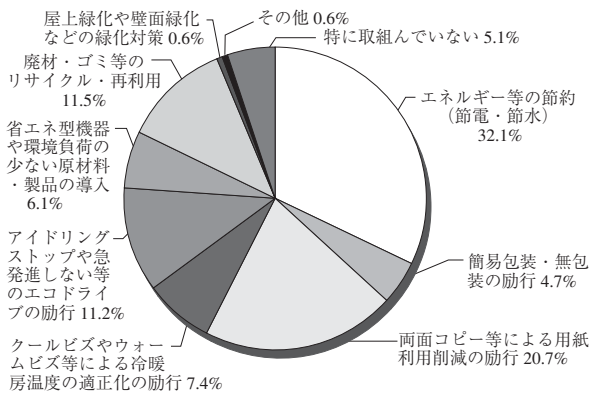
問1 環境問題について意識していますか



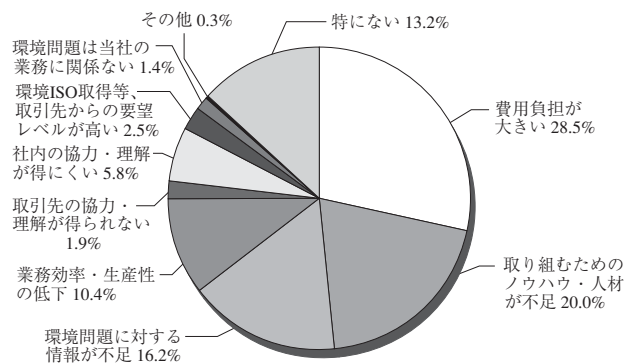
問2 企業経営上どのようなプラス面の効果を期待しますか



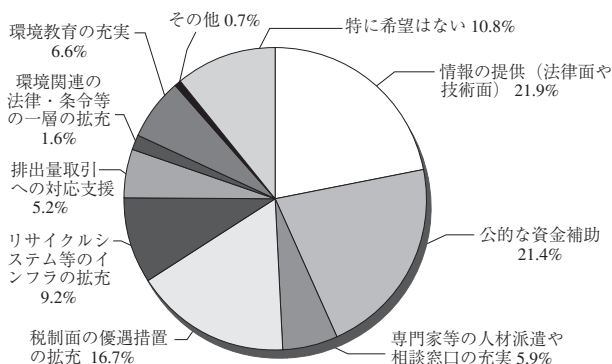
問3 実施している環境問題への取組み



問4 課題や問題点



問5 行政に対して支援を希望すること



まつしん創立60周年記念 まつしんサックス60

お取り扱い期間 平成20年12月30日まで

住宅の改修費、お車の買換、お子様の教育費などお使い道いろいろ
(事業資金・旧債務返済資金・転貸資金は対象外となります。)

最優遇金利(保証料不要)

2.4%~3.2%

(変動金利) 平成20年10月1日現在

ご利用いただける方: 当金庫の住宅ローンまたは当金庫扱いの住宅金融支援機構
をご利用いただいているお客さま

ご利用限度額: 300万円以内、ご融資期間: 5年以内

詳しくは、まつしんの各営業店窓口または、融資渉外担当者にお問い合わせ下さい。

まつしんサンデー相談会

開催日

開催店舗

11月 2日(日) 金色支店 安達支店
11月16日(日) 金色支店 安達支店 本宮支店
12月 7日(日) 金色支店 安達支店
12月21日(日) 金色支店 安達支店 本宮支店
※午前9時から午後3時まで開催いたします。

住宅ローン

各種ローン

資産運用

ご予約のない方も、どうぞお気軽にご来店ください。

お申し込み・お問い合わせはお近くのまつしんへ

本店営業部 ☎0243(23)1215 岩代支店 ☎0243(55)2233
根崎支店 ☎0243(23)0022 東和支店 ☎0243(46)2104
金色支店 ☎0243(23)0880 安達支店 ☎0243(23)3456
本宮支店 ☎0243(33)2159

まつしん景況レポート No.92

- 発行/二本松信用金庫
〒964-0807 福島県二本松市金色久保227番地 9
- 発行年月日/2008年10月28日
- 編集/経営企画部 ☎(0243)23-3660代
- ホームページアドレス/http://www.matsushin.jp